

参 考 資 料

- | | | |
|---|-----------------------------|-------|
| 1 | 諮問（写し） | 1～2頁 |
| 2 | 鳥取県公共事業評価委員会委員名簿 | 3頁 |
| 3 | 評価対象箇所位置図 | 4頁 |
| 4 | 再評価事業説明資料 | 5～18頁 |
| | ・一般国道313号道路改築事業（北条倉吉道路（延伸）） | |
| | ・水貫川河川改修事業（水貫川排水機場） | |

令和3年1月25日

鳥取県公共事業評価委員会



諮 問

鳥取県公共事業評価委員会

鳥取県公共事業評価実施要綱第7条第1項の規定に基づき、別添対象事業の継続、
休止、中止等の方針及び計画の妥当性について諮問します。

令和2年9月1日

鳥取県知事 平井 伸治



令和2年度 公共事業再評価対象予定箇所一覧

(事業費:百万円)

管内	担当課	市町村	事業名	事業の概要	着手年度	完成予定年度	延長、幅員等	全体事業費	残事業費	進捗率	備考
中部	道路建設課	北栄町	一般国道313号道路 改築事業(北条倉吉 道路(延伸))	道路改築	H29	R8	L=0.4km W=6.5(11.5)m	8,500	7,500	11.8%	社会情勢の変化等により知事が必要と認める事業(事業費が増加したことから再評価が必要であると判断されるため)
米子	河川課	米子市	水貫川河川改修事業 (水貫川排水機場)	排水機場整備	H28	R8	排水機場整備 一式	2,530	2,150	15.0%	社会情勢の変化等により知事が必要と認める事業(事業費が増加したことから再評価が必要であると判断されるため)

※1 事業費は令和2年度末見込み事業費。

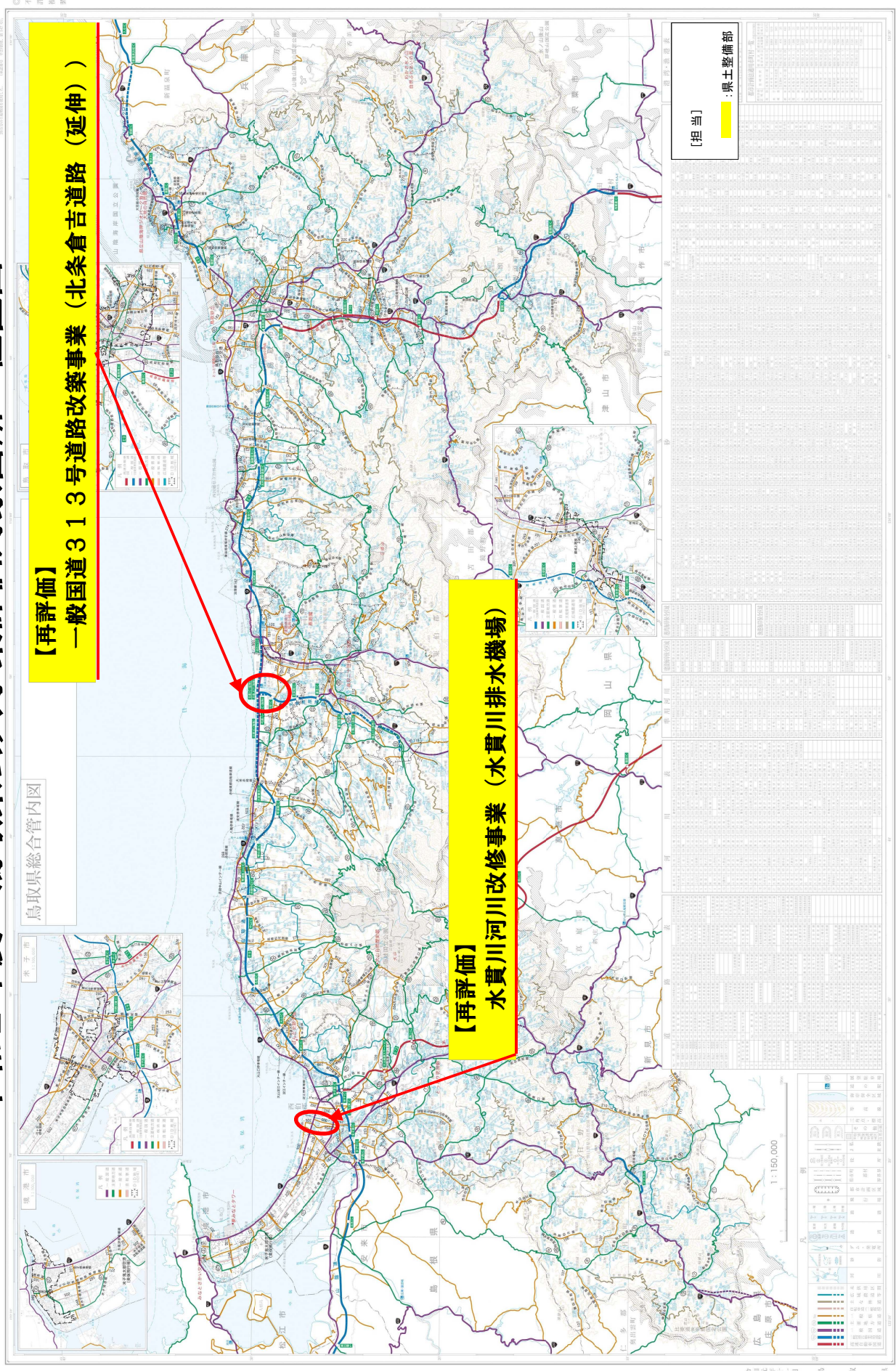
※2 令和2年度は、事前評価対象箇所は無し。

鳥取県公共事業評価委員会委員名簿

(令和2年9月1日 時点)

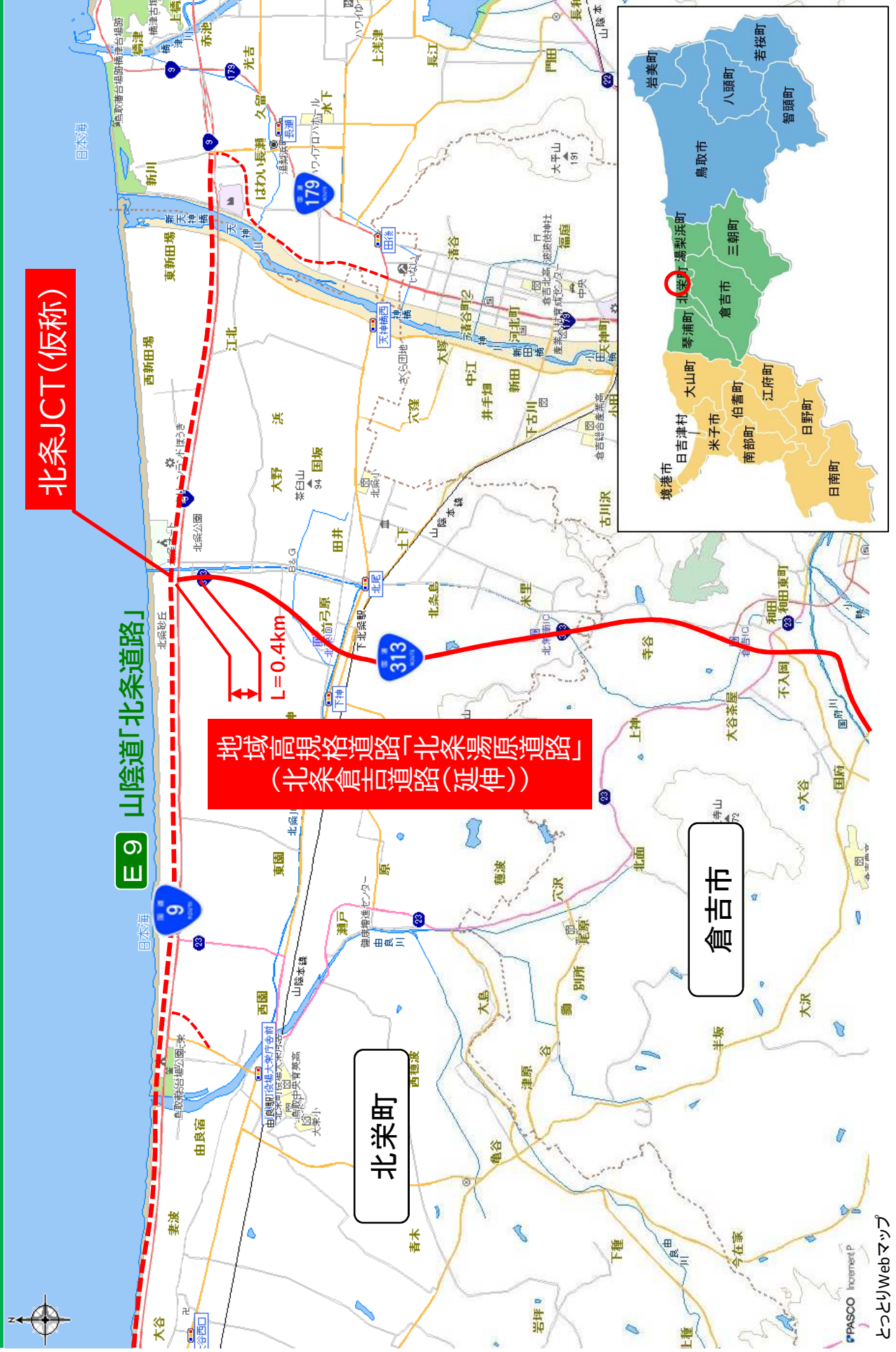
分野	氏名	職業・勤務先等
農業	いのさこ 耕二 猪迫 耕二	鳥取大学農学部副学部長
環境	からさわ しげのり 唐澤 重考	鳥取大学農学部教授（地域学部兼務）
公共政策	しおざわ けんいち 塩沢 健一	鳥取大学地域学部准教授
土木	くわの まさし 桑野 将司	鳥取大学工学部教授
まちづくり	とうない ちはる 藤内 千春	NPO法人こども未来ネットワーク事務局
産業	なかむら よしえ 仲村 美枝	(株) ヴィス・コーポレーション代表取締役
効率性	かわはら やすひろ 川原 康寛	税理士法人パートナーズ代表社員
県民の視点	にしむら ひろみ 西村 裕美	鳥取吉方郵便局長
	きしだ いずみ 岸田 いずみ	泊綜合食品(株)取締役
	むらえ りっ 村江 利津	山陰海岸国立公園鳥取砂丘ビジターセンター 一管理運営協議会事務主任

令和2年度 鳥取県公共事業評価対象箇所 位置図



一般国道313号道路改築事業 (北条倉吉道路(延伸))

1. 事業の概要(位置図)



2. 事業の概要(ジャンクション整備イメージ)



3. 事業内容

事業内容： 地域高規格道路「北条倉吉道路」と
山陰道「北条道路」を立体交差で接続する
ジャンクシヨンの整備

○計画延長： L=0.4km

○計画幅員： W=3.25(5.5)m ※1車線区間
W=6.5(11.5)m ※2車線区間

事業費： 85.0億円（見直し前） 48.2億円

事業期間： 平成29年度～令和8年度（変更なし）

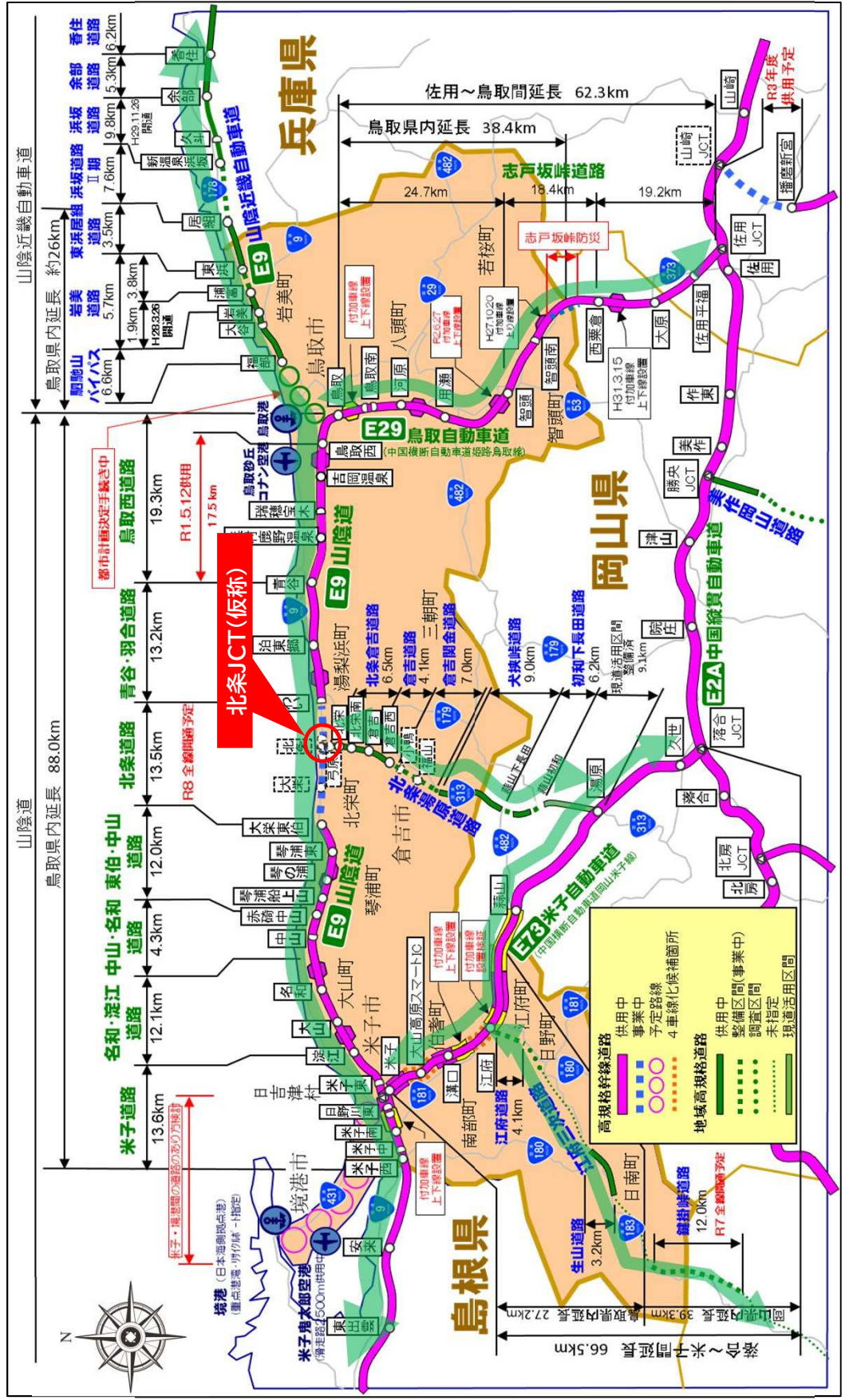
4. 事業評価の経緯

- 平成28年度事前評価
第1回事業評価委員会 平成28年10月6日(水)
第2回事業評価委員会 平成28年12月7日(水)
答申 平成29年 2月1日(水)
- 審議の概要 道路利用者の利便性、環境への影響、総事業費等を検証した結果、計画は妥当と判断された。
- 事業評価委員会における主な意見
 - ◇山陰道の大山町の辺りでは風で車が横転する事故が起きている。ここも海に近いところを走るので、強風対策が必要ではないか。
 - ◇道路が複雑になればなるほど、女性や運転が苦手なお年寄り等の事故が気になるので、わかりやすい案内看板、誘導等により事故防止に配慮してもらいたい。

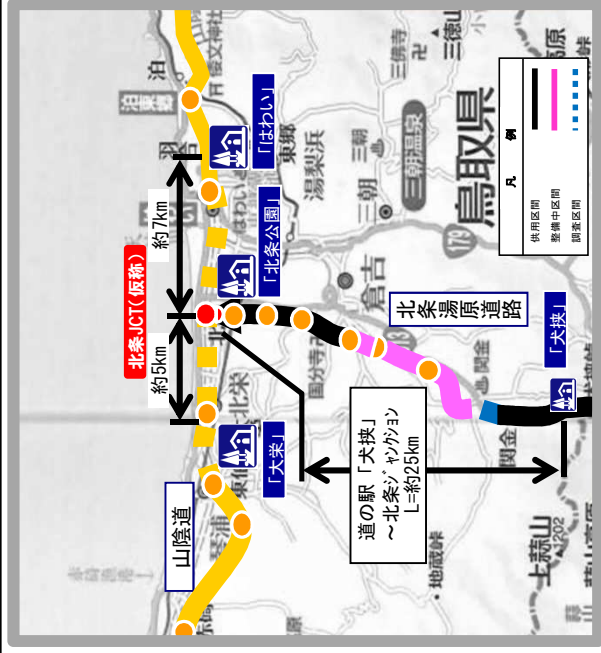
5. 事業の目的 ~円滑で快適かつ安全な道路サービスの提供~

■ 高速道路ネットワークの形成

- ・ 完全立体的なジャンクションで接続することにより、円滑で快適かつ安全な道路サービスを提供する。
- ・ 広域的な高速道路ネットワークの形成により、広域的な観光交流、企業誘致や民間投資の誘発など、社会資本の生産力向上を図る。



6. 事業(弓原ハーブIC(仮称))の目的



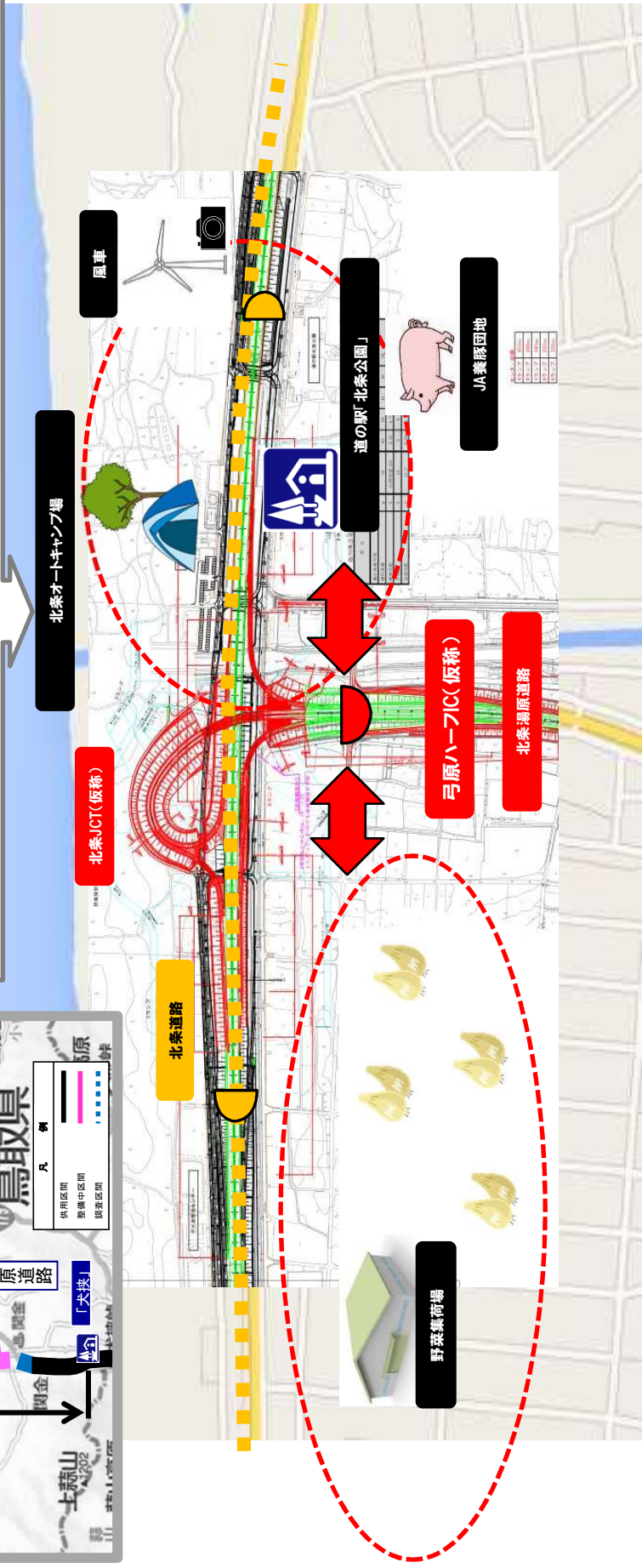
■ 休憩施設へのアクセス確保

道の駅「北条公園」は、R元年度に重点道の駅に選定され、中部地域の防災・休憩拠点として、北条道路及び北条ジャンクション開通に合わせた再整備が計画されている。

また、北条湯原道路は道の駅「犬挟」以北に休憩施設がなく、道の駅「犬挟」～北条ジャンクション間が約25kmと距離があり、休憩施設としての道の駅「北条公園」へのアクセスのためハーブインターチェンジの整備が必要。

■ 周辺の観光・農業施設へのアクセス確保

北条ジャンクション周辺は北条町の広域交流拠点に位置づけられ、再整備に着手する道の駅「北条公園」、北条オートキャンプ場や風車の周辺を観光レクリエーション拠点、北条ジャンクション西側地域を北条湯原道路による山陽方面等への流通を活かした農業拠点としたまちづくりに取り組みしており、これらの拠点へのアクセス整備が必要。



水貫川河川改修事業 (水貫川排水機場)

1. 事業の概要(位置図)



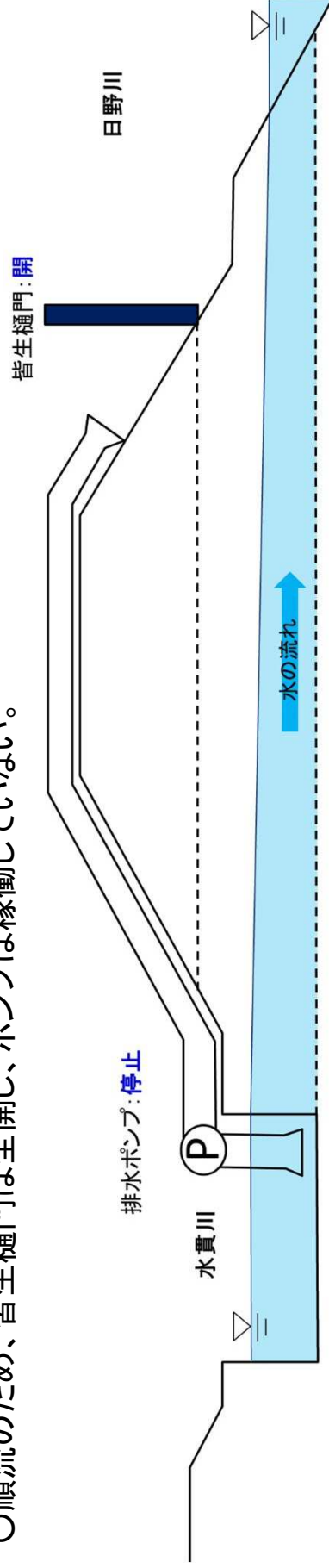
2. 事業の概要(位置図)



3. 水貫川の流れ

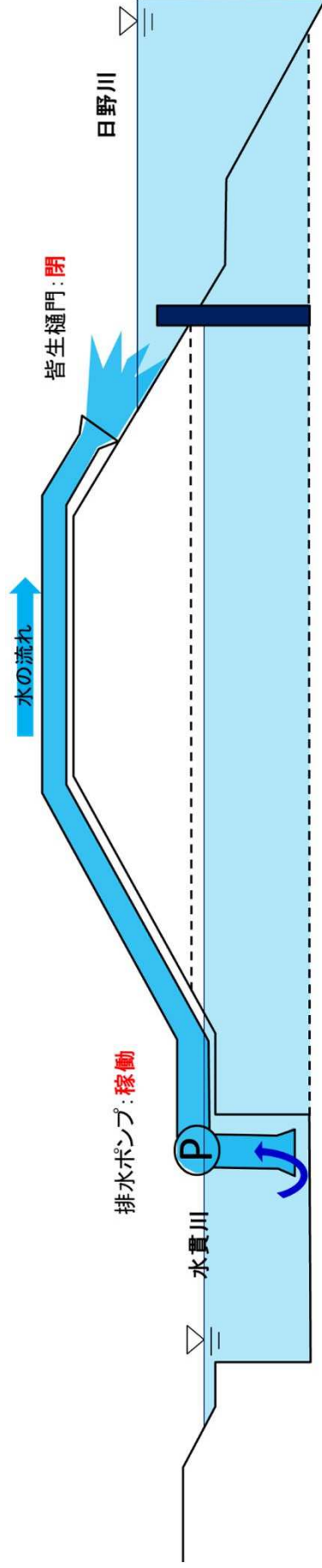
平時

- 平常時は、水貫川水位が日野川水位より高いため、水貫川から日野川へ水が自然流下する。
- 順流のため、皆生樋門は全開し、ポンプは稼働していない。



洪水時

- 洪水時は、水貫川水位より日野川水位が高いため、逆流防止のため皆生樋門を全閉する。
- 樋門から水が流れないため、ポンプにより強制的に水を日野川へ排水する。
- 現状の排水ポンプでは能力不足のため、氾濫により浸水が発生する。



4. 事業の概要(事業内容)

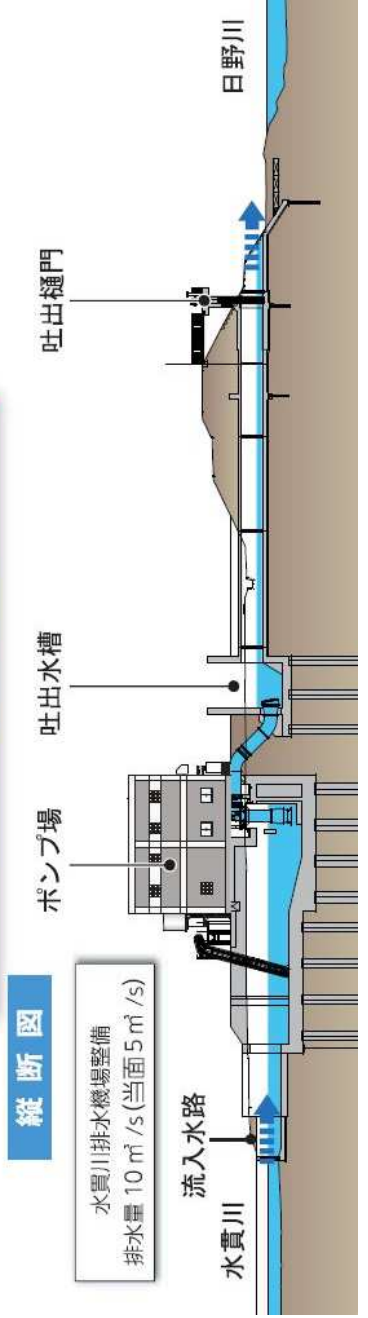
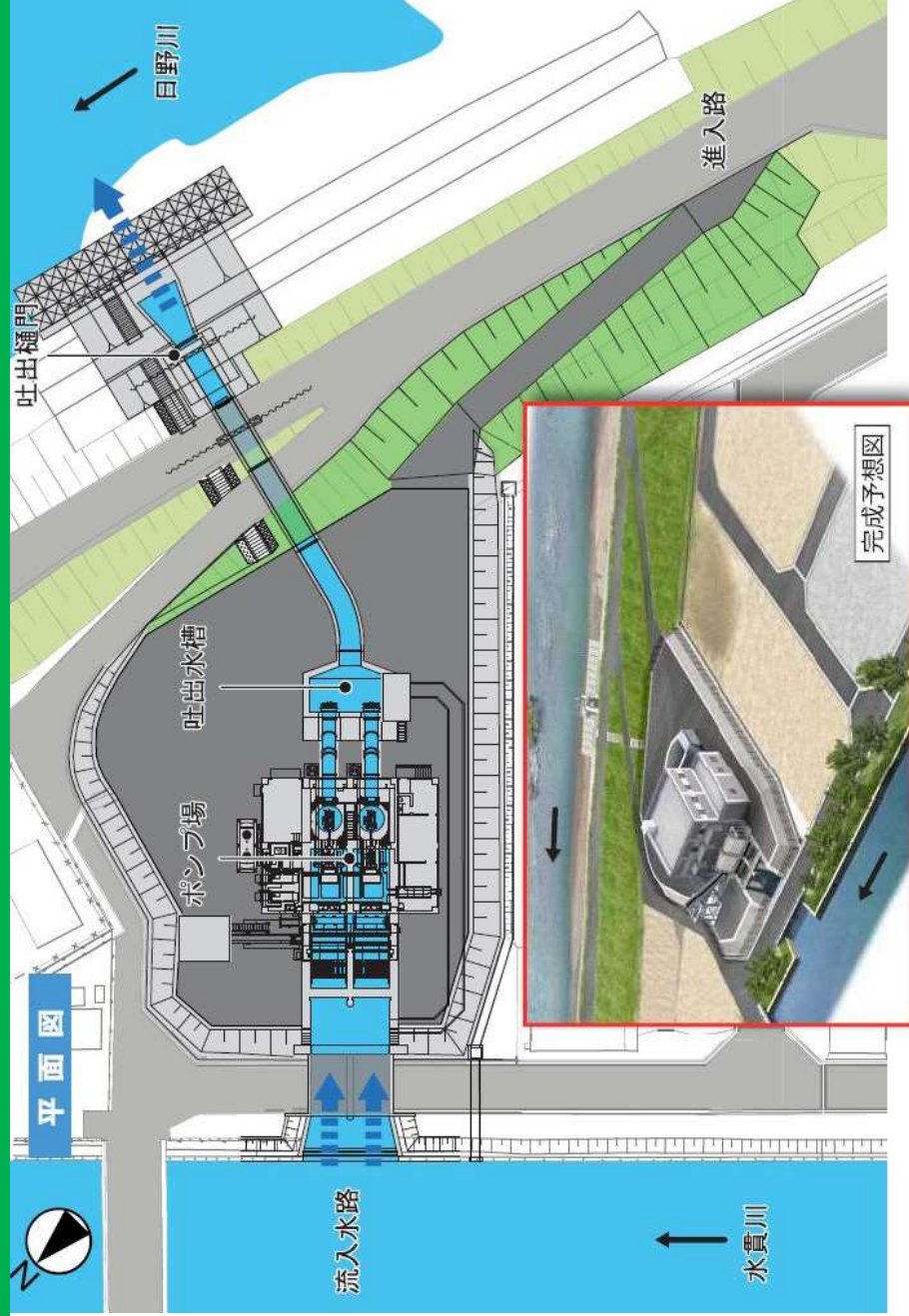
事業内容： 排水機場整備一式

事業費： 25.3億円
(見直し前： 11.3億円)

事業期間： 平成28年～令和8年度
(見直し前： 平成28年～令和4年度)

- ※ 水貫川改修事業は昭和49年事業着手
- ※ 排水機場整備： 平成28年～30年は交付金事業で実施
- ※ 令和元年度から補助事業（大規模特定河川事業）に移行

5. 排水機場概要図



6. 排水機場の仕組み

排水機場の仕組み

通常時

新設排水機場が無い場合



水貫川の水は、流末の水貫川樋門から日野川へ流れています。

洪水時

新設排水機場が無い場合



日野川の水位が水貫川より高くなると水貫川樋門を閉じるため、既設の管生救急内水排水機場のポンプより日野川へ排水します。しかしながら、雨の量が多いと排水できず、周辺が浸水してまいります。

洪水時

新設排水機場がある場合



水貫川排水機場が完成した場合には、既設ポンプに加え、新設排水機場によるポンプ排水により、周辺の浸水被害の軽減が期待できるようになります。なお、平成30年9月豪雨で発生した浸水被害は解消されることとなります。